| 吹 田 市 長 | 令和 3 年 8 月 13 日 (2021 年) あて 住所 吹田市山田丘1-1 |
|------------------|--|
| | ※注1 国立大学法人 大阪大学長 氏名 西恩 充治 (2) |
| | 事業所 西尾 章治郎 電話 (06) 6879 — 7125 |
| | |
| 受 付 番 号 | 03-0401 |
| 事業の名称 | 大阪大学(吹田)微研感染症共同実験棟新営その他工事 |
| 対 象 事 業 区 域 | 吹田市 山田丘2-1 |
| ※注1 | 住 所 大阪市中央区南船場2-1-10 CARP南船場第一ビル7階 |
| 設計 化代理者 | 株式会社 綜企画設計 大阪支店 第二事務所 氏 名 北田 久晴 |
| | 電話() 一 (担当者:) |
| ※注1 | 住 所 未定 |
| 工事施工者 | 氏 名 未定 |
| | 電話() - |
| 事業予定期間 | 令和 4 年 (2022 年) 5 月 1 日 から |
| | 令和 5 年 (2023 年) 1 月 31 日 まで 計画部分 既存部分 合 計 |
| | 対 免 車 業 |
| | 建 築 南 積 73180 73180 |
| 事業の規模 | M M M M M M M M M M M M M M M M M M M |
| | 最高の高さ 20.35 |
| | |
| | 構造・階数 地上 4 階・地下 地上 1 |
| | 区分 日 新 築 図 増 築 日 改 築 日 新 設 日 増 設 |
| | □ 開発行為事業(目的:) |
| | □ 建築物の新築又は増改築の事業 |
| 事業の目的・内容 | □ 工場・事業場 □ 住宅・共同住宅(戸) 〕 |
| 事未 の日間 門音 | □商業施設□事務所□公共的建築物 |
| | □ その他(学校) □ |
| | □ その他() 受 付 |
| 環境まちづくりの内容 | ガイドライン取組事項チェックリストによる |
| | ・ガイドライン取組事項チェックリスト |
| 添付書類 | ・工事関連車輌通行ルート図 |
| | ・その他必要と認める図書第第号 |

環境まちづくりの概要(1)

1. 環境に関する法規等を遵守するとともに、省エネルギーの推進、廃棄物発生量の削減、資源のリサイクル、地域 環境負荷の軽減、緑地や生態系の保全等を推進します。 2. 社会の様々な分野において人類が直面する環境問題を解決する次世代のリーダーとなる人材を育成し、研究成

果を通じて地域・国・地球が抱える環境問題の解決に貢献します。

事業者の環境方針

3. 安全で快適な修学・就業環境の確保と、研究活動に伴う環境に与える負荷の低減を両立させた持続可能なキャン パスを構築します。

4. 大学キャンパスを、環境に関する教育の場として、また研究の実証実験の場として活用し、その成果を社会へ還 元します。

5. 持続可能なキャンパスの構築へ向けた取組みを通じて、大学構成員の協働および大学と地域社会・周辺自治体・ 企業等との連携を推進し、先進的な環境マネジメントシステムを導入します。

当該事業における 環境まちづくり方針

- ・工事中の周辺環境への負荷軽減に努めます。
- 景観まちづくりに配慮します。
- ・気密性の高い実験施設として、点検性・更新性・防犯性の高い施設を目指します。

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

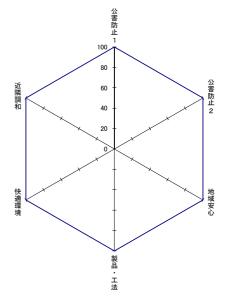
実施率 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数 該当なしを除いた項目数

49

—:方針(案)



| | 公害防止 1 | 公害防止 2 | 地域安心 | 製品・工法 | 快適環境 | 近隣調和 |
|--------------|--------|--------|------|-------|------|------|
| 方針 | 20 | 16 | 1 | 3 | 4 | 5 |
| 案 | 20 | 16 | 1 | 3 | 4 | 5 |

主な実施内容

- ・低排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機材を使用するようにします。 ・空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行うようにします。 ・建築資材の落下防止防止するなど、丁寧な作業を行うようにします。 ・道路などへの濁水や土砂の流出を防止するようにします。

- ・建築資材、廃棄物などの場内整理を行うようにします。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 83.8 パーセント

実施する・一部実施するの項目数

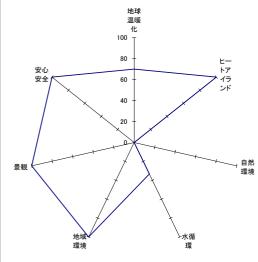
26

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

31

一:方針(案)



| | 地球温暖化 | ヒートアイランド | 自然環境 | 水循環 | 地域環境 | 景観 | 安心安全 | |
|----|-------|----------|------|-----|------|----|------|--|
| 方針 | 7 | 1 | 0 | 1 | 9 | 4 | 4 | |
| 案 | 10 | 1 | 0 | 3 | 9 | 4 | 4 | |

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量 t-CO2/年

導入内容

LED照明器具、グリーン調整法適合品の採用

(2)緑地面積

緑化率

27.4 %

条例基準分

<mark>16.0</mark> %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

工事完了後も、既存植栽を存置させる計画とする。

(3)雨水利用

雨水貯留量

0.4 t

うち雨水利用量

0.4 t

利用目的

【 □植栽水やり □・イレの流し水 □洗車 □その他

高温排水冷却用

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・屋上はフェンスを立ち上げ、防音に配慮する。
 - ・熱負荷低減に貢献する、外壁の開口部の最小化。

環境まちづくりの概要(3)

| 2. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。) | | | |
|---|---|--|--|
| | ・隣接棟と色彩や施設デザインに共通項をもたせ、景観のつながりや視覚的まとまりに配慮します。 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-------|----------------------|------------------|---|
| 大気汚 | 会学や騒音などの公害を防止します。 | | |
| 建設材 | 雙械 | | |
| 1 | 低公害型建設機械の使用 | ▼ 実施する 一部実施する | 低排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機材を使用するようにし |
| | 以立日主建改版版の 使用 | □ 実施しない □ 該当なし | ま す |
| | | ▼ 実施する | |
| 2 | 低燃費型建設機械の使用 | | 低燃費型建設機械の使用します |
| | | | |
| 3 | アイドリングの禁止 | ▼ 実施する | 排出ガス、騒音の低減を図る為、アイドリングを禁止するようにします |
| | | □ 実施しない □ 該当なし | |
| | | ▼ 実施する | |
| 4 | 環境に配慮した運転 | 実施しない 該当なし | 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行うようにします |
| | | | |
| 5 | 稼動台数の抑制 | ▼ 実施する | 工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制するよう にします |
| | | 実施しない 試当なし | |
| 6 | エ 東の亚淮ル | ▼ 実施する | 一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図るよう工事施工者 |
| 6 | 工事の平準化 | □ 実施しない □ 該当なし | に指示 |
| | | ▼ 実施する 一 一部実施する | |
| 7 | 機械類の整備点検 | | 機械類は適切に整備点検を行うようにします |
| 丁 車 目 | 連車両 | □ 実施しない □ 該当なし | |
| 工事 | 以 上 中 □ | | |
| 8 | 低公害、低燃費車の使用 | ▼ 実施する | 低燃費や排出ガス性能の良い車両を使用するようにします |
| | | □ 実施しない □ 該当なし | |
| | | ☑ 実施する □ 一部実施する | 大阪府条例に基づく流入車規制を全ての車両で確実に遵守するように |
| 9 | 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守 | 実施しない 該当なし | します |
| | | | |
| 10 | 工事関連車両の表示 | | 工事関係車両であることを車両に表示するようにします |
| | | 実施しない 該当なし | |
| 11 | 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設 | ▼ 実施する 一部実施する | 工事関連車両の走行ルートや時間帯は周辺道路の状況、住居の立地 条件に配慮して、一般交通の集中時間帯を避けて設定するようにしま |
| | 定 | □ 実施しない □ 該当なし | - |
| | | ▼ 実施する 一 一部実施する | 14 M 16 L 16 |
| 12 | 建設資材の搬出入における車両台数の抑制 | | 建築資材の搬入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制するようにします |
| | | | |
| 13 | 通勤等で利用する車両台数の抑制 | ▼ 実施する 一 一部実施する | 作業従事者の通勤、現場管理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関 の利用、相乗りなどを推奨し、工事関連の車両台数を抑制するようにし |
| | | □ 実施しない □ 該当なし | |
| | | ▼ 実施する | ダンプトラックによる土砂の積み下ろしの際には、騒音・振動や土砂の |
| 14 | 土砂の積み降ろし時の配慮 | □ 実施しない □ 該当なし | 飛散防止に配慮するようにします |
| ļ | | <u> </u> | |
| | | □ 実施する □ 一部実施する | |
| 15 | タイヤ洗浄 | ▼ 実施する | 周辺への土砂粉塵飛散を防止する為、現地でタイヤ洗浄を行うようにします |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|---------|-------------------|--|--|
| 16 | ドラム洗浄時の配慮 | 実施する □ 一部実施する実施しない □ 該当なし | コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮するようにします |
| 17 | 場外待機の禁止 | ▼ 実施する | 工事関連車両を場外に待機させないようにします |
| 18 | クラクションの使用抑制 | ▼ 実施する | クラクションの使用は必要最低限とするようにします |
| 19 | アイドリングの禁止 | ▼ 実施する | 排出ガス、騒音の低減を図る為、アイドリングを禁止するようにします |
| 20 | 環境に配慮した運転 | ▼ 実施する | 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行うようにします |
| 工事方 騒音・ | 法 振動等 | | |
| | 防音シートなどの設置 | ▽ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 遮音性の高い仮囲いや防音シートを設置するようにします |
| 22 | 丁寧な作業 | ☑ 実施する | 建築資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行うようにします |
| 23 | 騒音や振動の少ない工法の採用 | ▼ 実施する | 杭の施工などの際には、騒音や振動が少ない工法を採用するようにします |
| 24 | 近隣への作業時間帯の配慮 | ▼ 実施する | 騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行うようにします |
| 粉じん | ・アスベスト | | |
| 25 | 粉じん飛散防止対策 | ▼ 実施する | 土砂などの堆積場で、粉塵が飛散する恐れのある場合は、飛散防止対 策を行うようにします |
| 26 | アスベストの調査など | ▼ 実施する | 建築物などの解体の際には、アスベストの使用の有無を調査する |
| 27 | アスベスト飛散防止対策 | ▼ 実施する | アスベストを含有する建築物などの解体の際には、確実な飛散防止措置を行うようにします |
| 水質剂 | - 5濁・土壌汚染・地盤沈下 | | |
| 28 | 濁水や土砂の流出防止 | □ 実施しない □ 該当なし | 道路などへの濁水や土砂の流出を防止するようにします |
| 29 | 塗料などの適正管理及び処分 | □ 実施しない □ 該当なし | 塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分するようにします |
| 30 | 土壌汚染対策 | □ 実施しない □ 該当なし | 土壌調査を実施する際には、関係法令に準拠した地歴調査・土壌汚染 状況報告を実施し、汚染が判明した場合には適切な措置方法について 協議するようにします |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) | | |
|-----|---------------------|--------------------------------|--|--|--|
| 31 | 地盤改良時の配慮 | □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 該当なし | | |
| 32 | 周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用 | □ 実施しない □ 該当なし | 周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用するようにします | | |
| 悪臭• | 廃棄物 | | | | |
| 33 | アスファルト溶解時の臭気対策 | ▼ 実施する | アスファルトを溶融させる場合には、場所の配慮、溶解温度管理など臭 気対策を行うようにします | | |
| 34 | 現地焼却の禁止 | ▼ 実施する | 現地では廃棄物などの焼却は行わないようにします | | |
| 35 | 解体時の環境汚染対策 | | 解体を行う工事の際は、保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実施前に調査し、環境汚染とならないよう適切な処理を行うようにします | | |
| 36 | 仮設トイレ設置時の臭気対策 | ▼ 実施する | 仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮な どにより臭気対策を行うようにします | | |
| 37 | 産業廃棄物の適正処理 | ☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 産業廃棄物において法に基づいた処理を行うようにします | | |
| 地域の | 安全安心に貢献します。 | | | | |
| 38 | 地域との連携における事故の防止 | □ 実施ける □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし | | |
| 39 | 児童などへの交通安全の配慮 | □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし | | |
| 40 | 夜間や休日の防犯対策 | ▼ 実施する | 夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう、出 入り口を施錠するなどの対策を講じるようにします | | |
| 41 | 児童などへの見守り、声かけ | □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし | | |
| 42 | 地域の防犯活動への参加 | □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし | | |
| 環境に | 配慮した製品及び工法を採用します。 | • | | | |
| 省エネ | 省エネルギー | | | | |
| 43 | エネルギー消費の抑制 | □ 実施しない □ 該当なし | エネルギー効率の良い機材の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制するようにします | | |
| 省資源 | 京 | | | | |
| 44 | 残土発生の抑制 | ▼ 実施する | 建設発生残土は現地での埋戻しに使用するなど、残土の発生を抑制するようにします | | |
| 45 | 廃棄物の減量 | ▽ 実施する | 資材などの梱包などを最小限にして廃棄物を減量するようにします | | |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|----------|---------------------|---|---|
| | 『環境づくりに貢献します。 | | |
| 景観 46 | 仮囲い設置時の配慮 | ▼ 実施する | 仮囲い設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観麺も配慮するようにします |
| 47 | 仮設トイレ設置時の配慮 | ☑ 実施する | 仮設トイレは、近隣住民や交通者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫するようにします |
| 周辺の | の環境美化 | | |
| 48 | 周辺道路の清掃 | 実施する 一部実施する 一部実施する 一部実施する 一部実施する 一部実施する | 大学構内工事である為、該当なし |
| 49 | 場内整理 | ☑ 実施する | 建築資材、廃棄物などの場内整理を行うようにします |
| ヒート | アイランド現象の緩和 | | |
| 50 | 打ち水 | ▼ 実施する | 打ち水の実施をします |
| 地域と | この調和を図ります。 | | |
| 工事記 | 说明·苦情対応 「 | | |
| 51 | 工事内容の事前説明及び周知 | ▼ 実施する | 近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現状と今後の予定を通知し、理解を得るようにします |
| 52 | 苦情対応 | ▼ 実施する | 工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを提示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応するようにします |
| 周辺(| の教育・医療・福祉施設への配慮 | | |
| 53 | 工事内容の事前説明及び工事計画の配慮 | ▼実施する | 対応済み |
| 54 | 騒音、振動などの配慮 | ▼ 実施する | 騒音、振動、通風、最高などに配慮するようにします |
| 周辺の | の事業者との調整 | | |
| 55 | 複合的な環境影響の抑制 | ☑ 実施する | 工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉塵、工事車両の交通及びその他の環境影響を最小限に抑制する為、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整に努めるようにします |

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止すると ともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|---------------------|--|--|---|
| 地球温 | 温暖化対策を行います。 | | |
| 56 | 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価を得られるように努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示します。 |
| 57 | ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)、ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)設計 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | LED照明の採用、グリーン調達法適合品の採用 |
| 58 | 高効率及び省エネルギー型機器などの採用 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 高効率エアコンの採用 |
| 59 | 再生可能エネルギーの活用 | 実施する 一部実施する マ 実施しない 該当なし | 事業採算の都合上、実施しない方針とする |
| 60 | エネルギー効率の高いシステムの導入 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 事業採算の都合上、実施しない方針とする |
| 61 | エネルギーを管理するシステムの導入 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 事業採算の都合上、実施しない方針とする |
| 62 | 冷媒漏えい(使用時排出)の防止 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 改正フロン法(フロン排出抑制法)に準拠する |
| 63 | 建築物のエネルギー負荷の抑制 | 実施する一部実施する実施しない該当なし | 熱負荷軽減へ配慮し複層ガラスを採用 |
| 64 | 長寿命な建築物の施工 | 実施する 一部実施する 装当なし | 外装は防水性塗材を選定 |
| 65 | 環境に配慮した製品の採用 | 実施する | リサイクル配管・エコケーブルの採用 |
| 66 | 宅配ボックスの設置 | 実施する 一部実施する 参当なし | 該当なし |
| ヒート | アイランド対策を行います。 | | |
| 67 | 建物屋根面、壁面の高温化抑制 | 実施する 一部実施する 実施しない 数当なし | 該当なし |
| 68 | 地表面の高温化抑制 | 実施する マー部実施する 実施しない 該当なし | 保水性のあるインターロッキングの使用を工事施工者に推奨 |
| 自然環境を保全し、みどりを確保します。 | | | |
| 69 | 動植物の生息や生育への配慮 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 70 | 地域のシンボルツリーの保全 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 71 | 既存の植生の保全 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 既存の植生はなし |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|---------------------|--|--|
| 72 | 地域に応じたみどりの創出 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 73 | 駐車場緑化 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 74 | 屋上緑化など | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 屋上階に緑化スペースを確保できない |
| 75 | 法面縁化 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 76 | 植栽樹種の選定 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 水循斑 | 最を確保します。 | | |
| 77 | 水資源の有効利用 | 実施する 一部実施する ま当なし | 大学構内で採取した井水の利用 |
| 78 | 雨水流出を抑制する施設の設置 | 実施する 一部実施する 該当なし | 計画が敷地の局部的なものである為、実施しない |
| 79 | 雨水浸透への配慮 | 実施する 一部実施する より 実施しない 該当なし | 計画が敷地の局部的なものである為、実施しない |
| 地域0 |)生活環境を保全します。 | | |
| 大気· | 騒音・振動等 | | |
| 80 | 騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮 | ✓ 実施する ──一部実施する □ 実施しない 該当なし | 騒音に配慮した機械を選定する |
| 81 | 住宅における防音サッシ等の設置 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 82 | 駐車場の配置計画時の配慮 | 実施する | 本計画では該当なし |
| 83 | 近隣への悪臭及び騒音の配慮 | 実施する 一部実施する 財当なし 該当なし | 一部の排気にはHEPAフィルターを設け防臭に配慮 屋上にはフェンスを立ち上げ防音に配慮 |
| 84 | ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 低NOXボイラの採用 |
| 85 | 屋外照明や広告照明設置時の配慮 | ✓ 実施する ──一部実施する □ 実施しない 該当なし | 近隣に対する光の抑制を行う |
| 86 | 建築資材による光の影響の考慮 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 吹き付け塗装を主体に用いた外装とする |
| 87 | 環境に配慮した塗料の使用 | 実施する 一部実施する V 該当なし | 本計画では該当なし |
| 88 | 周辺の教育、福祉や医療施設への配慮 | 実施する □ = 部実施する □ ま施しない ▼ 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし |

| | 取 組 事 項 | 実 施 の 有 無 | 実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。) |
|-----|------------------------------|--|--|
| 中高月 | 暑建築物(高さ10メートルを超える建築物) | | |
| 89 | 日照障害対策 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 近隣自治会に事前説明を実施 |
| 90 | 電波障害の事前把握及び近隣説明 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 近隣自治会に事前説明を実施 |
| 91 | 電波障害発生時の改善対策 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 近隣自治会に事前説明を実施 |
| 92 | プライバシーの配慮 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 近隣自治会に事前説明を実施 |
| 景観ま | ちづくりに貢献します。 | | |
| 93 | 地域への調和 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 隣接する既存棟と調和の取れた外観構成とする |
| 94 | 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計 | J 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 吹田市景観まちづくり条例を遵守する |
| 95 | 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計 | J 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 吹田市景観まちづくり条例を遵守する |
| 96 | 重点地区指定に向けた協議 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 97 | 景観形成基準の遵守 | ま施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 吹田市景観まちづくり条例を遵守する |
| 98 | 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守 | 実施する一部実施する▼ 該当なし | 本計画では該当なし |
| 安心多 | そ全のまちづくりに貢献します。 | | |
| 99 | 歩行者が安全に通行できる工夫 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | エントランス部の仕上げを区別する |
| 100 | 災害に対する建築物・工作物の強靭性を高め る取組 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 構造計算ルート3にて設計し、構造適合性判定を提出する |
| 101 | 災害時の自立性を維持する取組 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 自家発電を計画 |
| 102 | 災害時に備えた地域等との連携に関わる取組 | 実施する 一部実施する 実施しない | 大学構内工事である為、該当なし |
| 103 | 災害時の避難や救助等の応急対応に関する取 組 | 実施する 一部実施する 実施しない 該当なし | 2方向避難を計画 |
| 104 | 犯罪を発生させない都市(まち)づくりに関する 取組 | 実施する 一部実施する 実施しない 数当なし | 大学構内工事である為、該当なし |
| 105 | 犯罪に備えた地域等との連携に関わる取組 | 実施する 一部実施する 実施しない J 該当なし | 大学構内工事である為、該当なし |